

188 ビタミンA欠乏症

担当	検 査 チ ャ ー ト			
家畜保健衛生所	(1) 疫学調査 (2) 臨床検査 (3) 剖検 (4) 生化学分析 (5) 病理組織検査 (血漿、血清) (死亡畜、と畜等) (肝臓) (+) (-) (+) (-)			
病性鑑定施設	(+) (-) (+) (-)			
判定・結果	(+)	(-)	(+)	(-)
最終判定	判定は総合的に判断する。			
その他				

→類似疾病検査

- ① 49 伝染性角結膜炎 ② 189 白筋症

(1) 疫学調査

- ① 肉質向上を目的とした、カロチン、ビタミンA 含有量の少ない飼料の給与。肥育中～後期に発生しやすい。
- ② 主なビタミン給与源が粗飼料である場合、冬から春にかけて発生

(2) 臨床検査

- ① 食欲不振、増体量の低下、被毛粗剛
- ② 痙攣、転倒、運動失調
- ③ 盲目、夜盲症
- ④ 尿石症
- ⑤ 四肢関節の浮腫

(3) 剖 検

- ① 皮下組織および骨格筋間質に水腫が認められることがある。
- ② 頭蓋骨の異常、小脳ヘルニア、内水頭症
- ③ 皮膚の鱗屑、痂皮形成

(4) 生化学分析¹⁾

- ① 血漿・血清レチノールの測定:10 μ g/dl 以下に減少
- ② 肝臓レチニルエステルの測定(可能ならばバイオプシー材料または解剖時に採材):1 μ g/g 以下に減少

(5) 病理組織検査

- ① 扁平骨の再構築の異常
- ② 脳、脊髄神経の変性
- ③ 網膜(網膜桿体と網膜錐体)の萎縮
- ④ 鱗屑性、痂皮性皮膚炎。腺および導管上皮(特に耳下腺)の扁平上皮化生は本症の特徴病変である。

(参考文献)

- 1) 日本ビタミン学会編: ビタミン学実験法 I. 23・27、東京化学同人(1985).